

平成 27 年 6 月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美



『ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム』 開催に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

約6千万人の人口を抱えるミャンマーは、豊富な天然資源と優れた労働力を有しており、今後の経済発展が期待されています。しかし、そうした発展のためには、インフラ整備が急務となっています。特に発電や送配電などの電力インフラの整備は大きな課題となっています。

電力の需要地に対して、発電所立地あるいは発電のエネルギー資源地は、必ずしも一致しないため、その間を繋ぐ送電線あるいは電力ネットワークが必要となります。ミャンマー国内においても、水力発電所あるいは石炭火力・天然ガス火力発電所と需要地間を、送電線によって接続することで電力の供給をはかるとする送電・変電・配電のプロジェクトが日本の ODA を中心に実現に向かって動き出しました。

この送電・変電・配電のプロジェクトにおいては、信頼性の高い日本の技術や経験が生きるプロジェクトでもあります。

本技術フォーラムは本プロジェクトへの日本の技術と経験をどのように生かして協力し、ビジネスチャンスとするかを考えるためミャンマー国の電力セクターの現状を理解し、幹部との意見交換の機会を提供し、日本の各社の技術をアピールする機会を提供します。

つきましては、今回本技術フォーラムにおいて、製品・技術のご発表される方又はオブザーバーとしてご参加される方、ご多忙の事と拝察致しますが、何卒よろしくご検討賜りますようお願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、2015年7月3日(金)までに下記、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)又は E-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

※尚、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合等は事務局までお問い合わせ下さい。

敬具

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

Tel: 03-6229-1946 Fax: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp idota@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp> URL <http://www.wkx21c.org>

URL <http://www.jef-site.or.jp/npgef/list.html>

『ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム』参加要項

1. テーマ:『ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム』
2. 期間:2015年7月22日(水)～7月26日(日) 5日間
(フォーラム開催日:2015年7月24日(金) ヤンゴン セドナホテルにて開催)
3. 主催:一般社団法人 日本技術者連盟(JEF)
4. ミャンマー側後援:(ご依頼中)

Ministry of Electric Power, Republic of the Union of Myanmar
Union of Myanmar Federation of Chambers of Commerce and Industry (UMFCCI)
Myanmar Engineering Society (MES)
在ミャンマー日本国大使館 JETRO ヤンゴン事務所
JICA ミャンマー事務所 日本商工会議所ヤンゴン事務所

5. 団 長: **鷲見 禎彦 氏** 元日本原子力発電株式会社 代表取締役社長
元関西電力株式会社 取締役副社長
6. コーディネーター:**森 和義 氏** 一般社団法人日本技術者連盟 理事
有限会社森テクノマネジメント 代表取締役
技術士、第1種電気主任技術者



■ 略歴

昭和28年3月 京都大学工学部電気工学科卒業
28年4月 関西電力株式会社入社
54年6月 同社中央送変電建設事務所長
60年6月 同社取締役・福井原子力事務所長
61年6月 同社取締役・原子力管理部担任
62年6月 同社取締役・原子力管理部・原子力建設部担任
63年6月 同社常務取締役
平成3年6月 同社専務取締役
5年6月 同社取締役副社長
11年6月 日本原子力発電株式会社 社長
16年6月 同社 顧問
24年6月 同社 社友
経済産業省 総合エネルギー調査会
原子力部会 委員 他



■ 略歴

昭和40年3月 早稲田大学 理工学部電気工学科卒業
40年4月 株式会社神戸製鋼所
東パキスタンチッタゴン製鉄所建設事務所
48年9月 同社カタール製作所建設部 課長
63年7月 同社新分野事業部 情報通信システム部長
平成2年10月 同社機械エンジニアリング事業本部
計装技術部長
8年1月 神鋼電機株式会社 技術本部副本部長
技術部長
12年1月 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役
21年9月 米国Anaheim大学
MBA(Sustainability Management)卒業

7. 趣 旨:

電力の需要地に対して、発電所立地あるいは発電のエネルギー資源地は、必ずしも一致しないため、その間を繋ぐ送電線あるいは電力ネットワークが必要となります。ミャンマー国内においても、水力発電所あるいは石炭火力・天然ガス火力発電所と需要地間を、送電線によって接続することで電力の供給をはかろうとする送電・変電・配電のプロジェクトが日本の ODA を中心に実現に向かって動き出しました。

この送電・変電・配電のプロジェクトにおいては、信頼性の高い日本の技術や経験が生きるプロジェクトでもあります。

本技術フォーラムは本プロジェクトへの日本の技術と経験をどのように生かして協力し、ビジネスチャンスとするかを考えるためミャンマー国の電力セクターの現状を理解し、幹部との意見交換の機会を提供し、日本の各社の技術をアピールする機会を提供します。

8. 発表テーマ(案):

- 1)送電分野 Transmission
 - ① 電力系統解析・計画(シミュレーション)
 - ② 交流送電(鉄塔、電線)
 - ③ 直流送電(送電ケーブル・交流直流変換を含む)
 - ④ 近隣諸国との電力連系
 - ⑤ 系統監視・制御技術
 - ⑥ インシュレーター
 - ⑦ その他
- 2)変電分野 Substation/Transformation
 - ① 変圧器
 - ② 遮断器
 - ③ 調相設備
 - ④ その他
- 3)配電分野 Distribution
 - ① 配電計画・データベース
 - ② スマートグリッド(再生エネルギー電源を含むシステム)
 - ③ スマートメータリング
 - ④ 地方電化
 - ⑤ その他

9. 技術論文作成について:

- ① 参加者の技術論文発表の時間は30~40分前後とします。
- ② 発表される技術論文のアブストラクトをA4サイズ1ページにまとめて頂き、2015年7月8日(水)までに総合事務局宛、電子ファイルでお送り下さい
- ③ テキストとして製本される技術論文は2015年7月15日(水)までにJEF総合事務局宛にお送り下さい。
- ④ フォーラムにて使用されるスライドは各自ご持参して頂くと共に、事前に総合事務局まで電子ファイルでお送り下さい。(発表会場にはプロジェクタースクリーン等準備しています)
- ⑤ テキストの使用言語及び発表言語は英語とします。
- ⑥ 質疑応答は日本語・英語(又はミャンマー語)逐次通訳となります。

10. 募集人員:15名(最少催行人数10名)

11. 参加費: 1名 ¥750,000-(消費税込み)
2名以降 ¥650,000-(消費税込み)
※現地よりご参加される場合は、事務局までお問い合わせください。

14. 発表言語: 英語

15. 添乗員: 添乗員は全行程同行いたします。

16. ホテル: 一人部屋

17. 旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

18. 総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

19. 申込方法: 添付申込書に必要事項記入の上、2015年7月3日(金)までにFAX(03-6229-1940)
又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

※尚、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合等は事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F

Tel +81-3-6229-1946 Fax: +81-3-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp idota@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

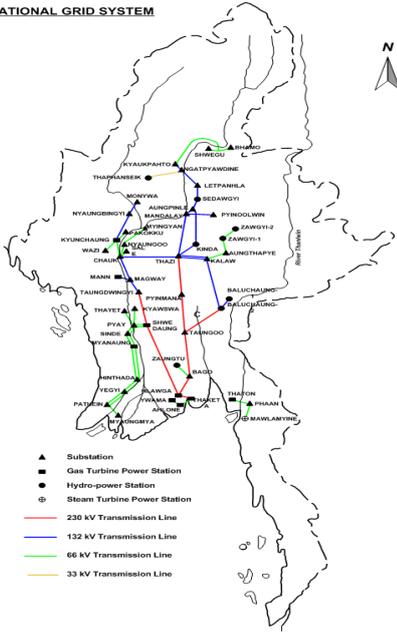
URL: <http://www.wkx21c.org>



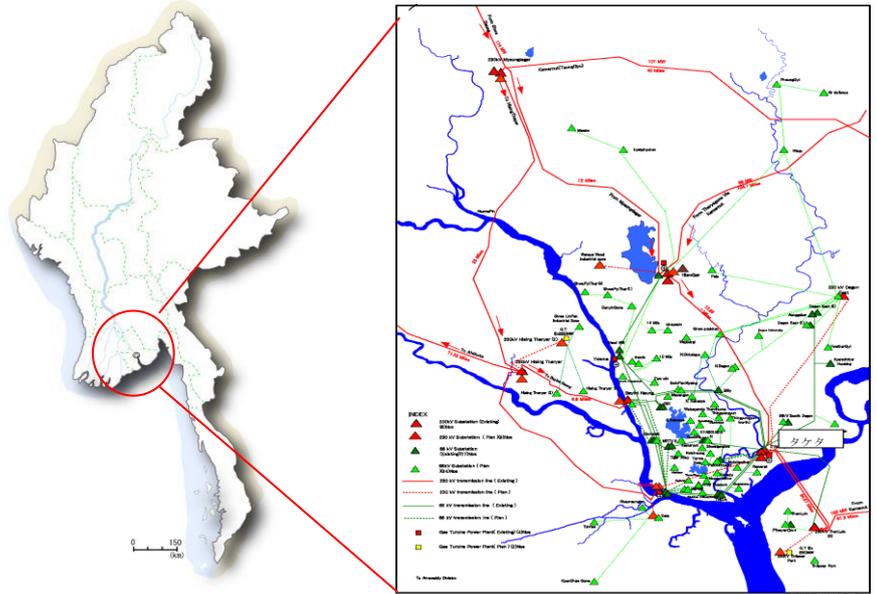
ミャンマー国の電力事情

停電が日常茶飯事のミャンマーの電力事情は改善されつつありますが、電力供給力の整備は緊急課題であります。ミャンマー国内には水力発電所と天然ガス火力発電所がそれぞれ15ヶ所、石炭火力発電所が1ヶ所あります。これらの発電所の総発電量は約1555メガワットです。安定的な生産体制のために停電対策は必須です。ミャンマー政府は将来的な工業化に備えて発電所建設計画を始め、日本からの協力を求めています。

NATIONAL GRID SYSTEM



ヤンゴン都市圏



2013年10月4日ヤンゴンにおいて『Myanmar / Japan Joint Forum on Electric Power Development 2013』を開催致しました。フォーラム当日はミャンマーの His Excellency U Nyan Tun U, B.E. (Metallurgy), ASEAN Eng., AFEO Honorary Fellow, Minister of Ministry of Electric Power and Industry, Yangon Region Government, The Republic of the Union of Myanmar 大臣を始め、ミャンマーの政府関係者、団体要人、ミャンマー企業関係者、アセアン諸国進出の日系企業関係者、マスコミ関係者等、総勢 131 名のご来臨賜わり、活発な質疑応答が行なわれました。

2014年9月ヤンゴンのセドナホテルにおいて、『日本／ミャンマー共同技術フォーラム“ガスタービンコンバインドサイクル”』を Ministry of Electric Power, Republic of the Union of Myanmar 始め、関係諸機関の協力を得て開催致しました。フォーラム当日は、前回と同じくミャンマー連邦共和国ヤンゴン管区政府、電力産業省大臣を始め、非常に多くの方々のご来場を賜わり、活発な質疑応答が行われました。

また今回のフォーラムは「日・ミャンマー外交関係樹立 60 周年記念事業」の一環として参加致すことが出来ました。



日本/ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム 日程表 2015年7月22日(水)～7月26日(日) 5日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい。
※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	7/22 (水)	成田発 ヤンゴン着	NH-913 専用バス/ガイド*	9:00 11:00 15:40	成田空港第一ターミナル4階全日空チェックインカウンター集合 全日空直行便にてヤンゴンへ 着後ホテルへ ヤンゴン泊	機内食 夕○
2	7/23 (木)	ヤンゴン滞在	専用バス/ガイド*		現地調査・視察など ヤンゴン泊	朝○ 昼○ 夕○
3	7/24 (金)	ヤンゴン滞在		終日	ミャンマー送電変電配電技術フォーラム開催 (セドナホテル) ヤンゴン泊	朝○ 昼○ 夕○
4	7/25 (土)	ヤンゴン滞在 ヤンゴン発	専用バス/ガイド* NH-914	午前 12:00 午後 21:45	自由研修 ホテルチェックアウトの後市内レストランにて昼食 ヤンゴン市内視察 途中夕食の後空港へ 全日空にて帰国の途へ	朝○ 昼○ 夕○
5	7/26 (日)	成田着		6:50		

宿泊ホテルリスト

都市	期間	利用ホテル名	住所他
ヤンゴン	8/26-8/29	セドナ ホテル ヤンゴン	No.1 Kaba Aye pagoda Road, Yankin Township, Yangon Myanmar
YANGON	3泊4日	SEDONA HOTEL YANGON	TEL: +95-1-666900 / FAX: +95-1-666911

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、事務局、添乗員同行費用
- ・ 通訳料
- ・ ミャンマー-VISA費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

・ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム

開催会場費、設営諸費用

・ 打合せ会/現地配布資料代 他

・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) 企画・運営費

・ 企画運営費

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)

・実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで :費用の20%

・実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで :費用の50%

・実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。

◎運営業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

その他

- ・ 参加費は、2015年6月8日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男 唐津 一	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 森 和義 佐藤 正文	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D. 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門) 社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木直彦	前財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆 荒井 利治 宅間 正夫	財団法人経済産業調査会 理事長 前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎 小川 順子 金氏 顯 河原 暲 佐川 涉 関村 直人 津山 雅樹 富岡 義博 新田 隆司 藤井 靖彦 宮野 廣 諸葛 宗男	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学) 東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長 前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事 元社団法人日本原子力学会 会長 社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士 社団法人日本電機工業会 原子力部長 電気事業連合会 原子力部長 前日本原子力発電株式会社 常務取締役 東京工業大学名誉教授 工学博士 特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道 坂倉 省吾 島 直 佐藤 正文 小泉 英雄 鄭 紹良	技術士(建設部門、総合技術監理部門) 財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士 ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シェルバ 前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事 技術士(電気電子部門) 台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾總統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
海外委員	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
アジア地区	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
中東地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
アフリカ地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA) AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。

『ミャンマー送電・変電・配電技術フォーラム』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

- 技術論文を发表する 発表テーマ()
- 技術論文を发表しないがフォーラムに参加する

フリガナ

会社名・団体名

英文名

所属名/役職名

英文名

フリガナ

参加者氏名

生年月日

大正・昭和・平成・西暦

年 月 日

パスポート記載名
(ローマ字)

学位

E-mail

携帯電話番号

勤務先

ご住所

〒 - □

電話番号

FAX番号

ご自宅

ご住所

〒 - □

電話番号

フリガナ

担当責任者名

印

所属名/役職名

旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)

- ① はい 旅券番号: 有効期限: 西暦 年 月 日
- ② いいえ 現在申請中 旅券申請書類の作成代行を依頼する。(有料)
- 自分で申請・取得する

喫煙の習慣

有・無

マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい

通信欄
(ご質問・ご希望
等お書き下さい)

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208